一般社団法人　日本自動販売協会　様

～業界統一仕様　新機能リサイクルボックス～
『導入目的』と『想定される効果』につきまして

Art Factory Gen

アートファクトリー玄株式会社

◆導 入 背 景

○ 目　的

1、業界全体で取り組み、**お客様及び業界関係者からの理解促進と協力　を得る**

2、質の高い飲料容器回収と資源化訴求による、
持続可能な飲料販売（特にペットボトル容器）の実現

3、**業界のプラスチック資源循環宣言　の実現** →

清涼飲料業界のプラスチック資源循環宣言

ペットボトル 100%有効利用　（2019年）

ボトル to ボトル 比率50%宣言　（2021年）

～2030年　に達成

○ 手　段　＊非競争領域 として

1、**効果が実証されたリサイクルボックス**　の採用と導入

2、屋外自販機を主とした、**「業界統一新機能リサイクルボックス」の全国導入**

3、**訴求性を高めたいエリアへの集中導入**

4、**「ゴミ箱感」を払拭する、蓋＆本体の一体導入**
（蓋のみの交換では、機能が半減し、想定する効果が望めないため）

◆導 入 背 景

実証実験で確認された効果

●2020年11月（東京都 渋谷区）　期間：1週間

『板金製』新機能リサイクルボックス

〇効果（異物混入率）

【既存】43%⇒ 【新機能】29%

= 約 14% の改善

●2021年8月（静岡県 浜松市）　期間：2週間

●2021年9月（愛知県 岡崎市）　期間：2週間

『汎用型』新機能リサイクルボックス

〇効果（異物混入率）

【既存】32.1%⇒ 【新機能】14.9%

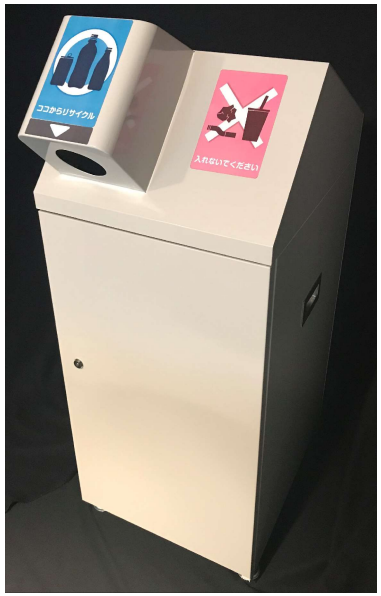
= 約 17% の改善

●2021年11月（三重県津市）　期間：4週間

〇結果（異物混入率）

【既存】17.9%⇒ 【新機能】11.5%

= 約 6.4% の改善



『板金製』新機能リサイクルボックス

『汎用型』新機能リサイクルボックス

◆想　定　効　果

実証実験の結果から想定される、導入後の効果

『異物混入低減』⇒『コスト・労力 低減』

●異　物

・カップ容器（コンビニ、テイクアウト等）
・食品容器
・容器包装
・吸殻
・飲み残し
・雨水
・小さな紙くず
・一般ごみ

●低　減

①廃棄物処理　コスト　（異物ゴミ減量、容器の汚れ低減による）

②回収ビニール袋　コスト（回収量低減による）

③散乱対応・臨時回収　労力　（カップ詰まり、空容器あふれによる）

④回収　労力（異物ゴミ減量による回収容量増加による）

◆街中のリサイクルボックス状況

■コロナ前のように人が少しずつ戻り始めてきており、
インバウンドで更に人が戻ってくる事が想像されます。

◆業界統一仕様　新機能リサイクルボックス　特徴

●投入口

近くからは見えない角度・高さとカップ等の入らない口径で異物を抑止

●カラー

「ゴミ箱感」を払拭する、これまでにない業界統一カラー

※ SDGsオレンジ ＝「11住み続けられるまちづくりを」

●啓　発

一目で理解しやすい、投入口脇の啓発スペース

※統一表示を検討中

【仕様】

■外形寸法：　W398×D530×943mm

■投入口径：　Φ80mm

■容量：　約90リットル　■材質：　ポリプロピン

導入開始時期
2022年10月中旬（予定）

■嵌合ロック補完オプション
（蓋を開けられにくくし、大きな異物混入低減）

①リピート式結束バンド

②ワイヤー

③南京錠

◆業界統一仕様　新機能リサイクルボックス　比較

実証実験モデル　と　業界統一モデルの違い

2021年　実証実験モデル

2022年　業界統一モデル

1，投入口（口径）	Φ82	Φ80
2，投入口（外観）	本体より飛び出している	本体からの **飛び出しを最小限** に抑えた
3，投入口（上部）	段差に、モノが載ってしまう	丸み形状で、**モノが載せられにくい**
4，投入口（嵌合部）	既製品への後付け為、強度不足	蓋との嵌合性を強化 **より外れにくい設計** へ変更
5，投入口（位置）	**右側**（既製品への対応の為）	**左側**（視覚･投入動作を考慮）
6，本体サイズ	**W408** ×D546×H1000mm	**W398** ×D530×H943mm

◆業界統一仕様　新機能リサイクルボックス

製品名：NPX-100Z

※知的財産　取得済み

◆仕様

外形寸法	：	W398×D530×H943mm　内外
投入口径	：	Φ80mm
容量	：	約90ℓ
材質	：	PP（ポリプロピレン）
開発・製造	：	アートファクトリー玄㈱